食品安全情報（化学物質） No. 12/ 2020（2020. 06. 10）別添

国立医薬品食品衛生研究所　安全情報部
（http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/index.html）

【特集】世界食品安全デー（World Food Safety Day）
2020 年 6 月 7 日

2018 年 12 月の国際連合総会において、毎年 6 月 7 日を「World Food Safety Day (WFSD)」とすることが決議された。WFSD は、食品安全なくして食料安全保障はなく、食品安全はヒトの健康や栄養に直接的に影響を与えるものであるという考えのもと、世界中全ての人が食品安全のことを考え、学び、実施するための機会とするために設置された。

テーマとして「食品安全はみんなの仕事（Food safety, everyone's business）」を掲げ、食品の安全性を確保するには、全ての人にそれぞれの役割があり、責任を分かちあうものであるということを認識しようと呼びかけている。

FAO と WHO は、食品を安全に保つために全ての人がどのように食品システムに係わり，その役割を果たすことができるのかについて、次のような 5 つのステップを提示している。

1） 安全を保証しよう：政府は全ての人のために安全で栄養のある食品を確保しなければならない
2） 安全に育てよう：農家や食品製造業者は優良規範を採用する必要がある
3） 安全に維持しよう：事業者は食品が安全であることを確実にしなければならない
4） 安全に食べよう：全ての消費者に安全で健康的で栄養のある食品を手にする権利がある

5) 安全性のためにチームを組もう：食品安全は責任を分かち合うものである（政府，地域の経済団体，国連機関，開発機関，貿易機関，消費者，生産者団体，大学，研究者，民間部門が一緒に食品安全問題に取り組まなければならない）

＊国連：World Food Safety Day 7 June
https://www.un.org/en/observances/food-safety-day

＊World Food Safety Day ガイダンス（日本語翻訳版）
http://www.fao.org/publications/card/en/c/CA7815JA
https://www.mhlw.go.jp/content/000632867.pdf

● 世界保健機関（WHO：World Health Organization）http://www.who.int/en/

1. 世界食品安全デー2020

World Food Safety Day 2020
7 June 2020
https://www.who.int/news-room/campaigns/world-food-safety-day/2020

食料安全保障、ヒトの健康、経済的繁栄、農業、市場参入、観光業、そして持続可能な開発への貢献につながる、食品由来リスクの予防、検出、管理に目を向けさせ、行動を起こすために、2020 年 6 月 7 日に第 2 回世界食品安全デー（WFSD: World Food Safety Day）を祝う。

昨年の第 1 回の成功に続き、今年も、2019 年に「食品安全の未来（The Future of Food Safety）」を掲げてアディスアベバとジュネーブでの会合でまとめられた食品安全への取り組みをさらに拡大することを強く呼びかける。WHO は、FAO と協力しつつ、WFSD を祝うようメンバー国に働きかけることができて嬉しく思う。

テーマ「食品安全はみんなの仕事（Food safety, everyone's business）」のもと、行動指向型キャンペーンで、世界の食品安全への認識を高め、国や政策決定者、民間部門、市民社会、国連機関、そして一般の人々へ行動を起こすよう呼びかける。

食品安全は、政府と製造者、そして消費者が互いに責任を分かち合うものである。我々が食べる食品が安全で健康に害とならないようにするために、フードチェーン全体にわたって全ての人に果たすべき役割がある。WFSD を通じて WHO は、食品安全を公衆衛生課題の主流に置き、食品由来疾患の負荷を世界的に減らすための取り組みを追求する。

（キャンペーンの専用サイトとして、ポスターやメディアカード、グッズ、インフォグラフィック、教材なども掲載）

● **WFSD バーチャルイベントガイド**

World Food Safety Day virtual event guide

11 May 202

https://www.who.int/who-documents-detail/world-food-safety-day-virtual-event-guide

多くの人が 6 月 7 日の WFSD を心待ちにしているのだが、今年は世界的な COVID-19 パンデミックのために物理的なイベントを組織できない。この短いガイドには、バーチャルイベントを開催しオンラインで WFSD を祝うことを支援するためのアイデアなどをまとめている。

● **世界食品安全デー2020：国連専門家が 2020 年 6 月 5 日に Facebook ライブイベント**

World Food Safety Day 2020: UN experts in Facebook live event on 5 June 2020

3 June 2020

https://www.who.int/news-room/detail/03-06-2020-world-food-safety-day-2020-un-experts-in-facebook-live-event-on-5-june-2020

FAO と WHO が指揮する第 2 回食品安全デーに先立ち、2020 年 6 月 5 日金曜日に FAO 長官の QU Dongyu 氏と WHO 長官の Tedros Adhanom Ghebreyesus 氏のビデオメッセージを含めたバーチャルな祝賀イベントを開催する。そのイベントでは、FAO と WHO の専門家とともに Facebook による対話型セッションを設ける。COVID-19 パンデミックによる世界的な危機により、モニタリングと食品安全に取り組むことの重要性がこれまで以上に強調された。World Food Day 2020 は、危機がサプライチェーンを混乱させず、安全な食品を入手でき、安全で健康的な食事の消費に貢献しようとしている全ての人に向けて捧げられている。

（Codex の Facebook ライブイベントを参照）

● **ファクトシート：食品安全**

Food safety

30 April 2020

https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/food-safety

（一部抜粋）

WHO の対応

WHO は、安全でない食品による公衆衛生の脅威に対して、世界的な予防、検出、対策を推し進めることを目標とする。そのために WHO は、食品由来リスクを予防、検出、管理するメンバー国の能力強化を次のことにより支援する。

- 何処のものであろうと食品の安全性を確保するために、コーデックスとして知られている国際的な食品規格・ガイドライン・勧告の基盤となる微生物及び化学ハザードに関する独立的な科学的評価を提供する
- FAO/WHO 食品管理システム評価ツールを用いて、計画的で透明性があり測定可能な

方法でフードチェーン全体にわたる食品管理システムの実態を評価し、能力開発のための優先分野を同定し、進捗を経時的に測定・評価する

＊The FAO/WHO food control system assessment tool
https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/329866/9789241515719-eng.pdf?seque

・ 食品生産に使用される、遺伝子組換えやナノ技術のような新技術の安全性を評価する
・ 国の食品システムと法的枠組みの改善、そして食品安全リスクを管理するための適切な基盤の実装を支援する。INFOSAN（International Food Safety Authorities Network）は、食品安全の緊急時に情報を迅速に共有するために WHO と FAO が開設したものである
・ 「WHO 食品をより安全にするための 5 つの鍵」のメッセージとトレーニング教材を用いて、系統的な疾病予防と認識プログラムにつながる安全な食品の取り扱いを促進する
・ 国際保健規則（IHR-2005）に従って、食品安全を衛生保障の重要な要素とし、国の政策と計画に食品安全を組み込むことを推奨する

WHO は、生産から消費までのフードチェーン全体で食品安全を確保するために、FAO や OIE、その他の国際機関と密接に連携している。

●国連食糧農業機関（FAO：Food and Agriculture Organization of the United Nations）
http://www.fao.org/

1. Codex

● 世界食品安全デーに FAO と WHO に参加しよう

Join FAO and WHO for World Food Safety Day
29/05/2020
http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1278230/

FAO と WHO は共同で、世界食品安全デーをバーチャルに祝う Facebook ライブイベントを 2020 年 6 月 5 日に開催する。今年の世界安全デーは日曜日であり、その前の 2 日間に 45 分ずつを予定している。

参加者にとって、WHO 及びコーデックス事務局の 2 人の食品安全の専門家と、安全な食品供給と健康的な食事や安全な食品の提供につながる世界市場を維持することについて、チャットで会話できるチャンスである。

＊ライブイベント
https://www.facebook.com/WHO

＊Food Safety at FAO

http://www.fao.org/food-safety/en/

＊Food Safety at WHO

https://www.who.int/health-topics/food-safety/

- **WFSD を祝うフェイスブックライブイベントを開始**

Facebook live event kicks off World Food Safety Day celebrations for FAO and WHO

06/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279447/

2020 年 6 月 5 日、WFSD を祝い食品安全「農場から食卓まで」について議論するバーチャルイベントが WHO の Pippa Haughton 氏の主催で開催された。ライブゲストは、コーデックスの副事務局長 Sarah Cahill 氏と WHO の栄養・食品安全局長 Francesco Branca 氏であった。Facebook、Twitter、LinkedIn、YouTube を介して世界中から数十万人が参加し、ゲスト専門家の二人とライブで意見を交わした。

ビデオメッセージで WHO 事務局長の Tedros Adhanom Ghebreyesus 氏は「WFSD は、食品を安全にするために我々の全てが役割を果たすことができることを改めて認識する日だ。」と述べ、安全な食品を皆がいつも手にできるようにしてくれている最前線の食品従事者らの働きを称賛した。また FAO 事務局長の QU Dongyu 氏は「食料安全保障 food security と食品安全 food safety は人の基本的な権利である。」と述べた。

食品からハザードや汚染をなくす、あるいは最低限にするために優良実践が重要である。我々は、食品が生産される環境が安全なままであることを確保する必要がある。このパンデミックは、ロックダウン中でも安全で栄養のある食品を入手できるように前線で働く食品生産者にとってまさに能力が試されるものである。

2020 年の WFSD は、市場に焦点を当てている。市場は我々に安全で健康的な食品を供給しなければならない。

視聴者らはお店が COVID-19 の原因になりそうか知りたがり、それに対して、ウイルスは食品や包装から伝播しないと回答し、一般的な衛生と、食品従事者が互いに感染させないために保護することが重要だと強調した。

- **#WorldFoodSafetyDay Twitter チャットに参加しよう**

Join the #WorldFoodSafetyDay Twitter chat: new date June 9

02/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1276326/

国連のフードシステムサミットと国際農業開発基金（IFAD）が Twitter チャットの開設の日付を変更して、2020 年 6 月 9 日に開設することになった。

＊参考：食品安全情報（化学物質）No. 11/ 2020（2020. 05. 27）

【FAO/WHO/Codex】 6 月 2 日に#WorldFoodSafetyDay Twitter チャットに参加しよう

http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2020/foodinfo202011c.pdf

- **6 月 7 日世界食品安全デー/ 食品を安全にするために共に取り組もう**

World Food Safety Day 7 June / Working together to make food safe

07/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279474/

（コーデックス議長 Guilherme da Costa 氏の声明）

本日、我々は第 2 回 WFSD を祝う、しかし非常事態に直面している。それでも我々は食品安全の重要性についてともに議論することができる。

我々は今のような状況を想定できなかった。だが我々はここにいて、この新常態と全ての課題をよく考えると、そこに多くの新たなプラスの面を見ることができる。人々は、これまでになく食品供給を意識し、食事を安全にするためには優良な実践が必要であることにも気づいている。優良な衛生と手洗いが今まで以上に我々の行動に組み込まれている。食品生産部門に課題が山積する一方で、食品安全についてより多くの気づきがあると確信している。第 2 回 WFSD にあたり、食品安全と公平な貿易を維持するために働いている全ての人に謝意を伝えたい。

我々は、食品安全への行動と投資を呼びかける。WFSD を祝して。

- **イベント報告**

世界食品安全デー/ 我々の大きな夢は安全で栄養のある食品を全ての家に届けること

World Food Safety Day / Our big dream of bringing safe and nutritious food to every home

07/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279499/

コーデックス事務局の Tom Heilandt 氏より。我々の大きな夢を成し遂げるためには、全ての人の平和的な協力が必要である。安全な食品は協力なしではありえない。安全でないなら、それは食品ではない。世界食品安全デーに、食品を安全に保つためには協力が必要だということを改めて認識しよう。食品安全はみんなの仕事である。

獣医及び農学の学生が食品安全を話すためにオンラインで集う

Veterinary and agricultural science students to gather online to talk food safety

07/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/12794

98/

国際獣医学生協会（International Veterinary Students' Association : IVSA）と国際農学部生及び関連科学（International Association of Students in Agricultural and Related Sciences : IAAS）が主催でオンラインイベントを開催。

チュニジアは世界食品安全デーを祝う

Tunisia celebrates World Food Safety Day

07/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279480/

チュニジアでは全ての政府機関や非政府機関が WHO とともに食品安全の取り組みを強化している。今年の WFSD は特に COVID-19 の状況下での「市場での食品安全（Food safety in markets）」をテーマにしている。

コスタリカ副大統領は 2 つのビデオで世界食品安全デーを祝す

Costa Rica Vice-President relays World Food Safety Day greetings in two videos

07/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279475/

スペイン語と英語。ビデオの中で、食品安全の重要性と、食品生産に携わる全ての人の健康と食品サプライチェーンを保護することの必要性を認識することを世界に呼びかける。

エクアドルにて、食品安全はみんなの仕事

In Ecuador, food safety is everyone's business

07/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279482/

Agrocalidad（政府機関）が 6 月 8 日にバーチャル会合を開催。

タンザニアで FAO と WHO が世界食品安全デーのために団結する

FAO and WHO teaming up for World Food Safety Day in Tanzania

08/06/2020

http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279681/

タンザニアで食品安全がどのように重要なのか報告する。特に露店での食品販売ににについて。

ウェビナー「食品安全はみんなの仕事」に参加しよう：インドの経験 2020 年 6 月 10 日
Join the webinar Food Safety, Everyone's Business: The India Experience June 10, 2020 | 11am - noon EST
09/06/2020
http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279864/

世界銀行・農業食品部門長の Martien van Nieuwkoop 氏と、以前にインド食品安全基準局（FSSAI）の CEO を務め、現在は商工省商業局にいる Pawan Kumar Agarwal 氏とともに、食品安全の改善のインドの経験について WebEx で会話しよう。

アフリカにおける COVID-19 の影響：FAO の Blaise Ouattara 氏とのポッドキャスト
Impact of COVID-19 in Africa - podcast with FAO's Blaise Ouattara
09/06/2020
http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1279865/

FAO のアフリカ地域事務局の Blaise Ouattara 氏がアフリカでの COVID-19 による食品安全への影響について質問に答える。特にプラスの影響としての衛生措置について説明し、WHO の安全な食品のための 5 つの鍵を実践することの重要性を強調した。

以上の他、キューバ、ルクセンブルグ、サウジアラビアなど、さまざまな地域から第 2 回 WFSD を祝うイベントやメッセージが報告されている。

● 欧州食品安全機関（EFSA：European Food Safety Authority）
http://www.efsa.europa.eu/EFSA/efsa_locale-1178620753812_home.htm

1．「食品安全はみんなの仕事、今も将来も」―世界食品安全デー2020 を祝して
'Food safety is everyone's business, now and in the future' – celebrating World Food Safety Day 2020
4 June 2020
http://www.efsa.europa.eu/en/news/food-safety-everyones-business-now-and-future-celebrating-world-food-safety-day

「食品安全は EFSA の日常業務だが、もし気候変動の影響を制限し、消費者・生産者・私たちの自然界の利益のために持続可能な地球規模の食品システムを構築したいなら、今も将来も安全を考慮することはみんなの仕事である。」と EFSA の事務局長 Bernhard Url

氏は述べた。

食品安全は共同責任であり、EFSA は、国連のイベントスポンサーであるコーデックス委員会・FAO・WHO を含む、我々の国の、欧州の、世界のパートナーとともに、2020 年 6 月 7 日の第 2 回世界食品安全デーを祝う。

この重要な問題の認識を高め、食料安全保障・ヒトの健康・経済的繁栄・農業・市場参入・観光業・持続可能な開発に貢献し、食品を介したリスクを予防・検出・管理するのに役立つ行動を起こすために、我々は一丸となって取り組んでいる。

食品安全は当たり前のように思われることが多い。欧州人の 5 分の 2 は食品安全に興味があるが、それが食品を選ぶ際の最大の関心事と言うのは 5 分の 1 だけである。食中毒にならない限り気づかないことも多い。病害菌・ウイルス・寄生虫・化学物質を含む安全でない食品は、下痢からがんまで 200 以上の病気の原因となる。

EFSA の事務局長 Bernhard Url 氏は次のように述べた、「世界食品安全デー2020 のために、私たちは EU の食品安全システムの 3 つの重要な機能―One Health アプローチ、持続可能な食品システム、食品安全の共同責任の実現に焦点を当てたい。これらは、多くの関係者とともに欧州や国の機関が世界で最高の食品安全・動物の健康及び福祉・環境保護の欧州基準を作るのに役立つ、EU 食品安全システムの重要な機能である。」

EFSA は食品安全を改善するため「One Health」アプローチの実行を支援している

- 基本データ：食品衛生(68%)や動物の健康(65%)がともに EU 市民に最も身近な食品安全の話題だと知っていますか？

One Health アプローチの基盤は人々の健康が動物や環境の健康に関連しているということである。病気の動物や悪化した環境は最終的に食品の安全性に影響し、人々の健康に影響を与える。「COVID-19 のパンデミックは、病原菌がもたらす危険や優良衛生規範の重要性をタイムリーに思い起こさせる」と Url 氏は述べた。「食品は COVID-19 の感染源や伝播の媒体ではないが、この非常事態は、これらの病気が公衆衛生や社会経済的幸福に与える影響をあまりにも痛烈に示した。」

もう一つの懸念事項は、抗生物質に対する抗菌剤耐性(AMR)の継続的な上昇傾向である。欧州委員会によると、AMR は EU で年間推定 33,000 人の死亡の原因となっており、医療費と生産性の損失で年間 15 億ユーロの損害を EU に与えている。

欧州委員会や加盟国のパートナーともに、EFSA、欧州疾病予防管理センター(ECDC)、欧州医薬品庁(EMA)などの EU の機関は、EU の One Health アプローチを実行している。汚染された土壌や水に由来する野菜・果物や動物由来食品の抗菌剤耐性人畜共通感染症や病原菌の脅威と戦うために、早期検出と監視を強化している。

持続可能な食品システムの投資は効果を生み、EU は安全な食品のために持続可能な環境を促進することを目指している

- 基本データ:欧州人の最も一般的な食品安全の 3 つの懸念は、家畜の医薬品の誤用(44%)、食品中の残留農薬(39%)、環境汚染物質(37%)である。

私たちの食品は田園地帯、川、海から来るので、土壌、空気、水をきれいに保ち、生活

に合わせることが基本である。欧州委員会は現在、食品システムを公平で健康で環境にやさしいものにすることを目的とし、食品生産と消費を欧州グリーンディールの中心にしっかりと配置した、EU の新しい「農場から食卓まで戦略」を開始した。

農薬の使用削減は食品生産と農業に関する重要な新しい提案の 1 つである。EU では、農薬の使用は厳しく規制されており、農薬中の物質は健康についてだけでなく生物多様性についての影響も評価されている。最新の科学的情報を考慮することを確認するために、評価は定期的に繰り返されている。

気候変動も食品の安全性と栄養に影響し生態系に影響を与える可能性がある。気候変動の結果として出現あるいは増加した様々なリスク―例えば新しい植物害虫、新しいバイオトキシン、病原菌―についての早期警告は、私たちの食料供給や環境を守るために不可欠である。気温と湿度の変化は土壌品質にも影響し、作物の栄養価に影響を与える可能性がある。

また、フードチェーンの安全性は、ヒトが動物、特に食料生産動物をどのように扱うかによって影響を受ける。ストレス要因や不十分な福祉が動物の病気に対する感受性を高める可能性がある。EU が世界最高の動物の福祉の基準を設定しているのはこのためである。消費者が長期的なヒトの健康と発達を促進する適切な栄養摂取を確保できるように、EFSA、EU や国のパートナーは安全で持続可能な食品を提供するために連帯している。

<u>欧州では、食品安全は農場から食卓まで共同責任で、世界最高の食品安全基準を保証している</u>

- 基本データ：欧州では食品関連リスクの情報では科学者(82%)の信頼が最も高く、消費者団体(79%)、農業従事者(69%)、国家機関(60%)、EU 機関(58%)、NGOs (56%)が続く。

協力は Bernhard Url 氏の好む話題の一つである。彼は述べた、「欧州の食品安全が共同責任であることに疑いはない。協力は、仕事量や必要な資源を共有するのに役立つだけでなく、欧州のすべての人が EU システムから利益を受けられるように、情報や最優良事例を伝えるネットワークを提供する。」例えば、食品と農業分野の優良衛生規範は食品由来疾患の発生と蔓延を減らすのに役立つ。食品安全教育は、消費者が情報に基づいた健康的な選択をし、より安全な食糧供給を求めるのに役立つ。この状況の枠組みは、食品安全の意思決定や助言の健全な科学的根拠を確保するために政策決定者や実践者とともに働く、EFSA や加盟国の科学的助言にかかっている。

Url 博士はつけ加えた、「欧州機関、国及び国際的パートナー、科学者や消費者から食品生産者や市民社会組織までの多くの関係者全員との協力をさらに深めれば、私たちは、今も将来も、欧州に安全なだけでなくより持続可能な食品を提供し続けることが出来る。」

●英国 食品基準庁（FSA：Food Standards Agency）http://www.food.gov.uk/

１．パンデミック中の家庭食品ファクト

Home food facts during the pandemic

4 Jun 2020

https://www.food.gov.uk/news-alerts/news/home-food-facts-during-the-pandemic

世界食品安全デーを機に、FSA は COVID-19 パンデミック中に食品安全の誤解を正すため、家庭食品のファクトチェッカーを発表した。現在、我々の多くが台所で多くの時間を費やしている。世界食品安全デーに我々は、ロックダウン中やその後に家庭で食品を安全に管理するのを支援したいと感じている。この日を機に、よく聞く疑問についての助言を 5 つのこつ「家庭食品ファクト」として提供しよう。これは不必要な食品廃棄をさけるのを助ける。

- 卵を安全に食べるには
- 缶詰食品について：缶がへこんでいるものを
- ご飯の残りは食べられる
- ジャガイモ：緑化、痛んでいる、芽がでている部分は除くこと
- 果物や野菜について：熟れていても食べられる（例：茶色くなったバナナ）、生の豆は食べないこと（レクチン）

＊家庭食品ファクトチェッカー

https://www.food.gov.uk/safety-hygiene/home-food-fact-checker

---

●米国食品医薬品局（FDA：Food and Drug Administration）http://www.fda.gov/,

１．世界食品安全デー

World Food Safety Day

05/29/2020

May 29, 2020

https://www.fda.gov/food/consumers/world-food-safety-day

6 月 7 日は世界食品安全デーである。国連は汚染食品と汚染水による健康への結果に世界の関心を集めるため宣言した。食品由来の疾患の回避、世界食品安全デーへの参加、食品安全における FDA の役割についての多くの資料へのリンクをまとめて紹介している。

２．世界食品安全デーを FDA とともに

Join FDA on World Food Safety Day

June 5, 2020

https://www.fda.gov/food/cfsan-constituent-updates/join-fda-world-food-safety-day

関連リンク掲載。

食品と医薬品部署合同の世界食品安全デーのウェビナーでの Frank Yiannas の発言

Remarks by Frank Yiannas at the Association of Food and Drug Officials World Food Safety Day Webinar

https://www.fda.gov/news-events/speeches-fda-officials/remarks-frank-yiannas-association-food-and-drug-officials-world-food-safety-day-webinar-06052020

FDA が昨年に発表した「よりスマートな食品安全の新時代（New Era of Smarter Food Safety）」イニシアチブについて、更新内容と進捗状況を伝えたいと思う。我々はこれから数週間のうちに、その青写真を公表する予定である。しかし、まずは今週末の日曜日、6 月 7 日の世界食品安全デーについて述べたい。全ての国、我々の合衆国、食品安全の専門家たちにとって、公共部門だろうと民間部門であろうと、世界中の人々の安全と健康の維持をともに助けるために、食品安全はこの上なく重要であると思われる。

昨年の第 1 回世界食品安全デーには、そのことが直ちに明確になった。世界の食品システムにおいて食品由来疾患には国境がない。だからテーマの「食品安全はみんなの仕事」がすべてを物語っている。それから世界は変化し、国々は COVID-19 と戦っている。その変化が明らかにしたのは、世界食品安全デーに込められた、希望、深い関与、そして責任ということが、これまでになく必要になっているということである。そして、それらは 365 日、1 年間毎日、必要とされる。

パンデミックのときに

世界食品安全デーが呼びかけているのは、FDA と規制機関や公衆衛生パートナーが応えるということである。FDA は、COVID-19 への対応と食品供給の安全性確保を支援する日常の業務で、この呼びかけに応えている。食品由来疾病を予防するための科学とリスクに基づいたアプローチという構想の FDA の食品安全近代化法（FSMA）の導入を通じて、FDA は、農場や食品施設が汚染リスクを低減するための基準や予防的管理を策定した。「よりスマートな食品安全の新時代」は、よりデジタルで安全な、追跡可能な食品システムをつくるための新技術とアプローチを利用することで FSMA の上に成り立つものである。

（以下、よりスマートな食品安全の新時代の説明と青写真に盛り込まれた課題について。各内容については今号の食品安全情報（化学物質）の FDA 記事を参照）

- 技術が可能にするトレーサビリティー
- 予防のためのよりスマートなツールとアプローチ
- 新しいビジネスモデルと小売りの近代化
- 食品安全文化

- パートナーシップの価値
- 新時代の青写真

● インド食品安全基準局　（FSSAI：Food Safety & Standards Authority of India）
http://www.fssai.gov.in

１．Goa、Gujarat 及び Chandigarh が食品の安全でリードしている：世界食品安全デーにランキング発表

Goa, Gujarat and Chandigarh lead in food safety: Rankings declared on World Food Safety Day
June 07, 2020
https://fssai.gov.in/upload/press_release/2020/06/5edccd7cdcba8Press_Release_Food_Safety_Day_07_06_2020.pdf

FSSAI は世界食品安全デーを祝い、第二回州食品安全指数の結果を発表した。州食品安全指数は食品安全に関する 5 つのパラメータで毎年評価する。また、FSSAI は e-ハンドブック「COVID-19 のときに正しく食べる（Eat Right during COVID-19）」を市民向けに発表した。

以上

食品化学物質情報
連絡先：安全情報部第三室